

授業科目名		担当講師名		対象学年	
介護総合演習 I		谷村 志寿江・福 将太 増本 智奈海		1・2・3年次	
授業形態	単位(時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義	2(60)	1・2・3 年教室	通年	不定期	不定期
実務経験	本科目は、介護福祉士として実務経験のある教員による講義。				
授業のキーワード	目標設定 記録方法 実習事後発表会				
到達目標及び及び 事前学習	在宅ケアに関する介護の実際や居宅サービスについての理解を深める。実際に在宅を訪問し、生活の場に入る体験を通し、個別の介護展開を学ぶ。グループホームやケアハウスでの介護業務を通し、介護サービスの理解を深める。利用者との人間的ふれあいを通じて、利用者のニーズと介護の機能を知り、介護福祉士としての姿勢や役割について理解できる。				
1	実習の目的				
2	実習の意義				
3	実習の心得				
4	在宅ケアとは				
5	さまざまな在宅ケア				
6	デイサービス、デイケアとは				
7	実習事前準備				
8	実習事前準備				
9	実習事後指導				
10	実習事後指導				
11	実習報告会の実施				
12	実習報告会の実施				
13	グループホームとは				
14	認知症の理解とコミュニケーション方法				
15	小規模多機能型居宅介護とは				
16	実習事前準備				
17	実習事前準備				
18	実習事後指導				
19	実習事後指導				
20	実習報告会の実施				
21	実習報告会の実施				
22	訪問介護事業所とは				
23	実習事前準備				
24	実習事前準備				
25	実習事後指導				

26	実習事後指導
27	実習事後指導
28	実習報告会の実施
29	実習報告会の実施
30	まとめ
履修上の要件	
テキスト、教材、 参考書	教科書 介護総合演習・介護実習（中央法規）
使用機器等	
成績評価の方法	レポート、記録、発表
備考	